

新規採用・削除医薬品等通知

新規採用医薬品通知

【薬品名】	オンジェンティス錠 25mg	劇	市販直後調査;2020年8月~2021年2月
【英名】	Opicapone		
【規格・含有量】	1錠中オピカポン 25mg		
【一般名】	オピカポン		
【メーカー名】	小野薬品工業株式会社		
【薬価収載日】	2020年8月		
【薬価】	1錠;972円		
【薬効コード】	1169		
【薬効分類名】	末梢 COMT 阻害剤		
効能・効果	レボドパ・カルビドパ又はレボドパ・ゼンゼラジド塩酸塩との併用によるパーキンソン病における症状の日内変動(Wearing-off 現象)の改善		
用法・用量	本剤は、レボドパ・カルビドパ又はレボドパ・ベンセラジド塩酸塩と併用する。通常、成人にはオピカポンとして25mgを1日1回、レボドパ・カルビドパ又はレボドパ・ベンセラジド塩酸塩の投与前後及び食事の前後1時間以上あけて経口投与する。		
禁忌	<p>本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>褐色細胞腫、傍神経節腫又はその他のカテコールアミン分泌腫瘍のある患者〔高血圧クリーゼのリスクが増大するおそれがある。〕</p> <p>悪性症候群又は非外傷性横紋筋融解症の既往歴のある患者〔投与中止に伴い、悪性症候群や横紋筋融解症の発現リスクが増大するおそれがある。〕</p> <p>重度肝機能障害(Child-Pugh 分類 C)のある患者〔本剤の血中濃度が上昇する可能性がある。〕</p>		
相互作用	<p>心拍数増加、不整脈、血圧変動があらわれるおそれ</p> <p>COMT により代謝される薬剤; アドレナリン(別名エピネフリン)、ノルアドレナリン(別名ノルエピネフリン)、d-イソプレナリン塩酸塩、ドパミン塩酸塩等</p> <p>血圧上昇等を起こすおそれ MAO-B 阻害剤; セレギリン塩酸塩、ラサギリンメシル酸塩等</p> <p>三環系・四環系抗うつ薬、ノルアドレナリン再取り込み阻害薬、ノルアドレナリン・セロトニン作動性抗うつ剤; アミトリプチリン塩酸塩、マプロチリン塩酸塩、ベンラファキシン塩酸塩、デュロキセチン塩酸塩、ミルタザピン等</p> <p>両剤作用減弱 鉄剤</p> <p>本剤作用減弱 キニジン</p>		
副作用	<p>重大な副作用 ジスケネジア、幻覚、幻視、幻聴、譫妄、傾眠、突発的睡眠</p> <p>その他 便秘</p>		

(薬品名)	デュピクセント皮下注 300mg ペン 劇・生物
(英名)	Dupilumab (Genetical Recombination)
(規格・含有量)	1 製剤(2mL)中デュピルマブ(遺伝子組み換え)300mg
(一般名)	デュピルマブ(遺伝子組み換え)
(メーカー名)	サノフィ株式会社
【薬価収載日】	2020 年 11 月
【薬価】	1 キット;66,562 円
【薬効コード】	449
【薬効分類名】	ヒト型抗ヒト IL-4/13 受容体モノクローナル抗体
効能・効果	既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎 気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロールできない重症又は難治の患者に限る) 鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎(既存治療で効果不十分な患者に限る)
用法・用量	アトピー性皮膚炎 通常、成人にはデュピルマブ(遺伝子組み換え)として初回に 600mg を皮下投与し、その後は 1 回 300mg を 2 週間隔で皮下投与する。 気管支喘息 通常、成人及び 12 歳以上の小児にはデュピルマブ(遺伝子組み換え)として初回に 600mg を皮下投与し、その後は 1 回 300mg を 2 週間隔で皮下投与する。 鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎 通常、成人にはデュピルマブ(遺伝子組み換え)として 1 回 300mg を 2 週間隔で皮下投与する。なお、症状安定後には、1 回 300mg を 4 週間隔で皮下投与できる。
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
相互作用	記載なし
副作用	重大な副作用 重大な過敏症 その他 注射部位紅斑

〔薬品名〕	アイベータ配合点眼液
〔英名〕	Brimonidine Tartrate・Timolol Maleate
〔規格・含有量〕	1mL 中ブリモニジン酒石酸塩 1mg 及びチモロールマレイン酸塩 6.8mg(チモロールとして 5mg)
〔一般名〕	ブリモニジン酒石酸塩 ・ チモロールマレイン酸塩
〔メーカー名〕	千寿製薬株式会社
【薬価収載日】	2019 年 11 月
【薬価】	1 瓶;451.30 円
【薬効コード】	1319
【薬効分類名】	α_2 作動薬/ β 遮断薬剤合剤(緑内障・高眼圧症治療剤)
効能・効果	次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合:緑内障、高眼圧症
用法・用量	1 回 1 滴、1 日 2 回点眼する。
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 低出生体重児、新生児、乳児又は 2 歳未満の幼児 気管支喘息又はその既往歴のある患者、気管支痙攣又は重篤な慢性閉塞性肺疾患のある患者[喘息発作の誘発・増悪がみられるおそれがある。] コントロール不十分な心不全、洞性徐脈、房室ブロック(Ⅱ、Ⅲ度)又は心原性ショックのある患者[これらの症状を増悪させるおそれがある。]
相互作用	他剤作用増強 降圧剤、中枢神経抑制剤;バルビツール酸誘導体、オピオイド系鎮痛剤、鎮静剤、麻酔剤等、アルコール 血圧変動に影響する可能性 モノアミン酸化酵素阻害剤 結膜充血等の眼炎症性副作用の発現頻度の上昇 オミデネパグ イソプロピル 散瞳作用が助長 アドレナリン、ジピペフリン塩酸塩 低血圧、徐脈を生じ、眩暈、失神、起立性低血圧を起こすおそれ カテコールアミン枯渇剤;レセルピン等 眼圧下降あるいはβ-遮断剤の全身的な作用が増強のおそれ β -遮断剤(全身投与);アテノロール、プロプラノロール塩酸塩、メプロロール酒石酸塩 房室伝導障害、左室不全、低血圧を起こすおそれ カルシウム拮抗剤;ベラパミル塩酸塩、ジルチアゼム塩酸塩 心刺激伝導障害(徐脈、房室ブロック等)があらわれるおそれ ジギタリス製剤;ジゴキシン、ジギトキシン β-遮断作用(例えば心拍数減少、徐脈)が増強のおそれ CYP2D6 阻害作用を有する薬剤;キニジン硫酸塩水和物、選択的セロトニン再取り込み阻害剤
副作用	重大な副作用 眼類天疱瘡、気管支痙攣、呼吸困難、呼吸不全、心ブロック、うっ血性心不全、心停止、脳虚血、脳血管障害、全身性エリテマトーデス

【薬品名】	アイラミド配合懸濁性点眼液
【英名】	Brimonidine Tartrate ・ Brinzolamide
【規格・含有量】	1mL 中ブリンゾラミド酒石酸塩 1mg ・ ブリンゾラミド 10mg
【一般名】	ブリンゾラミド酒石酸塩・ブリンゾラミド
【メーカー名】	千寿製薬株式会社
【薬価収載日】	2020年5月
【薬価】	1瓶;492.20円
【薬効コード】	1319
【薬効分類名】	α_2 作動薬/炭酸脱水酵素阻害薬配合剤(緑内障・高眼圧症治療剤)
効能・効果	次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合;緑内障、高眼圧症
用法・用量	1回1滴、1日2回点眼する。
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 低出生体重児、新生児、乳児又は2歳未満の幼児 重篤な腎障害のある患者
相互作用	他剤作用増強 降圧剤、中枢神経抑制剤;バルビツール酸誘導体、オピオイド系鎮痛剤、鎮静剤、麻酔剤等、アルコール 血圧変動に影響する可能性 モノアミン酸化酵素阻害剤 相加的な作用を示す可能性 炭酸脱水酵素阻害剤(全身投与);アセタゾラミド等 副作用増強のおそれ アスピリン(大量投与)
副作用	その他 霧視

削除医薬品通知

オペガード MA 眼灌流液	1/5 削除
アズラビン点眼液 0.02%	1/5 削除
ディレグラ配合錠	1/5 削除

後発医薬品採用通知

変更後	変更前
<p>● <u>1月5日より</u></p> <p>ミチグリニド Ca・OD 錠 10mg「三和」</p> <p>チアプリド錠 50mg「日医工」</p> <p>バルプロ酸 Na 錠 200mg「フジナガ」</p> <p>バルプロ酸ナトリウム徐放錠 A100mg「トーワ」</p> <p>バルプロ酸ナトリウム徐放錠 A200mg「トーワ」</p> <p>セレコキシブ錠 100mg「ファイザー」</p> <p>アモキシシリンカプセル 250mg「トーワ」</p> <p>ナフトピジル OD 錠 25mg「DSEP」</p> <p>ピタバスタチンカルシム OD 錠 2mg「KOG」</p> <p>炭酸ランタン OD 錠 250mg「フソー」</p> <p>ベザフィブラート SR 錠 200mg「サワイ」</p> <p>ブレガバリン OD 錠 75mg「ファイザー」</p> <p>ブレガバリン OD 錠 25mg「ファイザー」</p>	<p>グルファスト OD 錠 10mg</p> <p>グラマリール錠 50mg</p> <p>デパケン錠 200mg</p> <p>デパケン R 錠 100mg</p> <p>デパケン R 錠 200mg</p> <p>セレコックス錠 100mg</p> <p>サワシリンカプセル 250</p> <p>フリバス OD 錠 25mg</p> <p>リバロ OD 錠 2mg</p> <p>ホスレノール OD 錠 250mg</p> <p>ベザトール SR 錠 200mg</p> <p>リリカ OD 錠 75mg</p> <p>リリカ OD 錠 25mg</p>

適応追加通知

<p>ゲムシタビン点滴静注用</p> <p>200mg</p> <p>1g</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>非小細胞肺癌、膵癌、胆道癌、尿路上皮癌、手術不能又は再発乳癌、がん化学療法後に増悪した卵巣癌、再発又は難治性の悪性リンパ腫</p> <p>【用法・用量】</p> <p>膵癌、胆道癌、尿路上皮癌、がん化学療法後に増悪した卵巣癌、再発又は難治性の悪性リンパ腫の場合</p> <p>通常、成人にはゲムシタビンとして 1 回 1000mg/m²を 30 分かけて点滴静注し、週 1 回投与を 3 週連続し、4 週目は休薬する。これを 1 コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。</p> <p>非小細胞肺癌の場合</p> <p>通常、成人にはゲムシタビンとして 1 回 1000mg/m²を 30 分かけて点滴静注し、週 1 回投与を 3 週連続し、4 週目は休薬する。これを 1 コースとして投与を繰り返す。シスプラチンと併用する場合は、ゲムシタビンとして 1 回 1250mg/m²を 30 分かけて点滴静注し、週 1 回投与を 2 週連続し、3 週目は休薬を 1 コースとすることもできる。なお、患者の状態により適宜減量する。</p> <p>手術不能又は再発乳癌の場合</p>
---	--

	<p>通常、成人にはゲムシタビンとして1回 1250mg/m²を30分かけて点滴静注し、週1回投与を2週連続し、3週目は休薬する。これを1コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。</p>
--	--